

装備の知識について

アウター・リヤ・ビュー・ミラー

エンジン・フード

ヘッドランプ



ドア・アウトサイド・ハンドル

サイド・ターン・シグナル・ランプ
ハザード・ウォーニング・ランプ

フロント・ターン・シグナル・ランプ
ハザード・ウォーニング・ランプ

クリアランス& パーキング・ランプ

バック・ドア

ターン・シグナル&
ハザード・ウォーニング・ランプ

パーキング・ランプ

テール&ストップ・ランプ

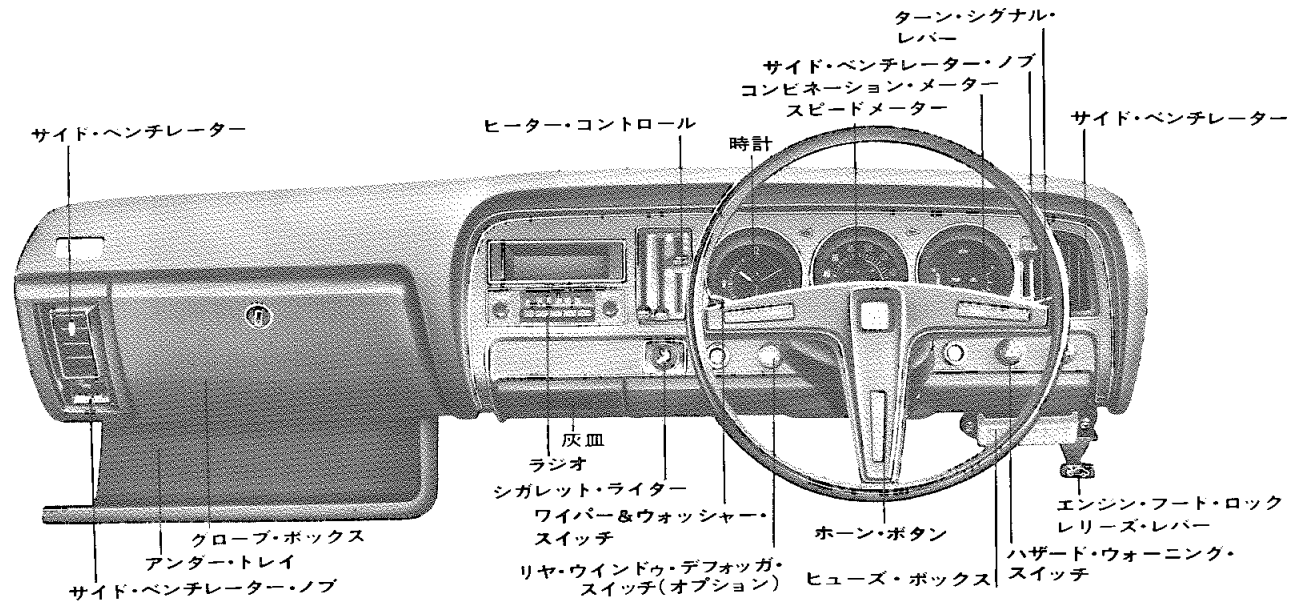
バック・アップ・ランプ

ライセンス・プレート・ランプ



反射器

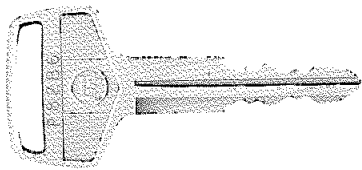
コロナ マークII パン デラックス



コ罗纳 マークII バン デラックス

ご乗車の前に

■ キーを確認しましょう。

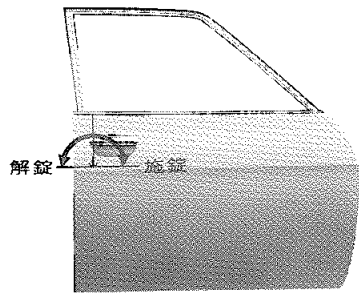


(すべてのキー・シリンダーに使用)

★注意

キー・ナンバーを控えておきましょう。万一、キーを紛失された場合でも取り扱い店にお知らせいただければ、スペア・キーを作ることができます。

■ ドアについて



ドアをあけるときは

車外から……ドア・アウトサイド・ハンドルを持ち上げます。

車内から……ドア・インサイド・ハンドルを手前に引きます。

★注意

必ず後方確認をしましょう。いきなりあけると後続車がぶつかる恐れがあります。

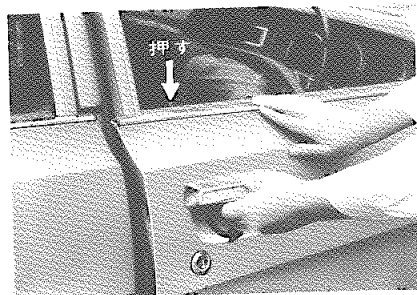
ドアを閉じるときは
確実にしめましょう。

★注意

半ドアの状態では、運転中ドアが開く恐れがあります。

ドアをロックするときは
車外から……

〈フロント・ドア〉



ロック・ボタンを押えドア・アウトサイド・ハンドルの内側を引き上げたままドアを閉めます。

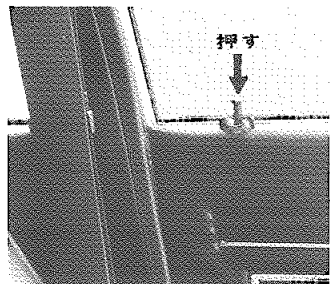
●注意●

キーを車内に置き忘れないようにしましょう。

車内から……

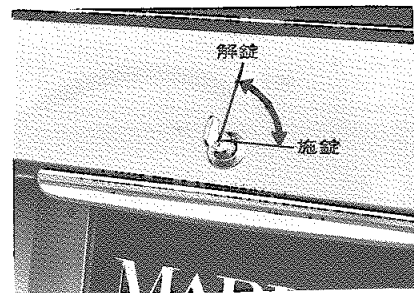
ドア・ロック・ボタンを押えます。

〈リヤ・ドア〉



ロック・ボタンを押え、そのままドアをしめます。

■バック・ドア



施錠の位置でキーを差し込み、左へ回しプッシュ・ボタンを押して、バック・ドアを持ち上げて開きます。

バック・ドアを開くと、バック・ドア・ランプがつきます。

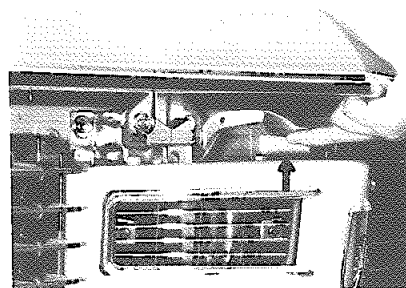
閉じるときは、バック・ドアをそのまま下までおろし、上から手で押えつけます。そのままの位置でキーを差し込み、右へ回すと施錠できます。

■エンジン・フードをあけるには



1. 計器盤下のノブを引きます。

ロックがはずれ、セーフティ・ラッチがかかった状態になります。



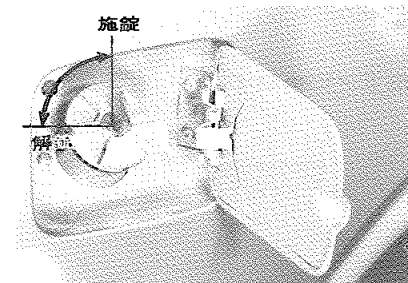
2. エンジン・フードのすき間に手を入れセーフティ・ラッチをはずしエンジン・フードをいっぱいあけます。

3. 閉じるときは、フードを下げた前端を押えつければロックします。

●注意●

フードが半ロックの状態では走行しないでください

■ガソリンを補給するには

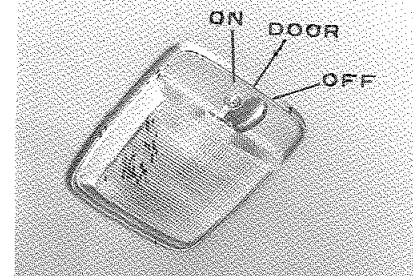


キャップにはロックがついています。キーをOFFにしてから取りはずします。

(除くSTD車)

ガソリンは無鉛・レギュラー・ガソリンをお使いください。

■ルーム・ランプとドアの関係は



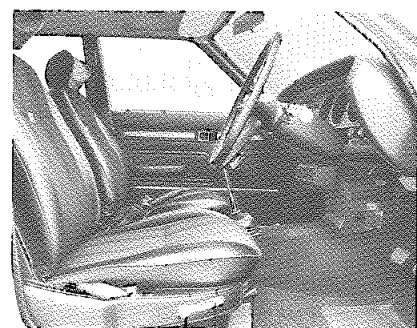
ルーム・ランプ・スイッチは3段になっています。

ON……………ドアの開閉に関係なく点灯

DOOR ……ドアを開いたときのみ点灯

OFF……………ドアの開閉に関係なく消灯

シートについて



リクライニング・アジャスト・レバー

シート・アジャスト・レバー

■フロント・シートの位置を調整 しましょう。

シートの位置調整は、正しいドライビング・ポジションで運転するために必要なことです。

ペダルを十分に踏むことができ、ゆとりのある位置に調整しましょう。

前後位置調整

シート下のレバーを外側に押している間、前後に移動できます。

調整後は、シートがロックされたことを確認しましょう。

リクライニング調整

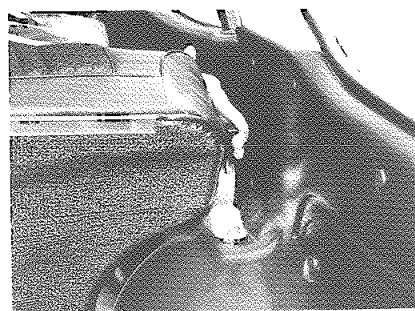
シート横のレバーを引き上げると、シート・バックの角度が調整できます。

★注意も

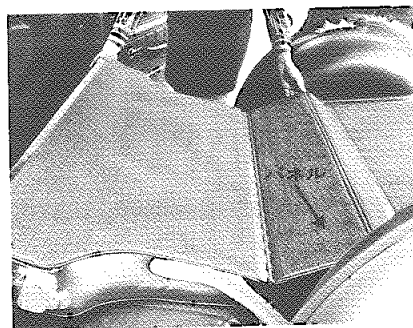
シートの位置調整は、車を運転する前に行なってください。車が動いているときの調整は運転姿勢がくずれ危険です。

■リヤ・シート

コラム・シフト車

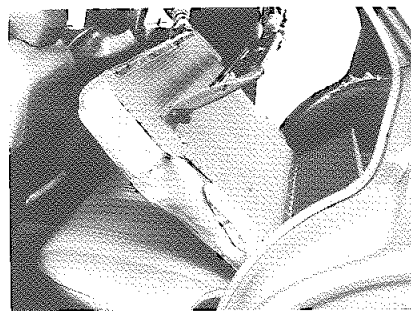


シート・バックは前に倒すことができます。リヤ・ロック・レバーを前にいっぱい引き、シート・バックを前に倒します。



シート・バックを起すときは、中央のパネルを持ち上げて起します。シート・バックを後に押えつくと自動的に固定されます。

フロア・シフト車



リヤ・シート・バックを倒すときは、シート・バックの裏のハンドルを引き上げてから前に倒します。

中央部のパネルを押えつけ固定し、つぎにハンドルをいっぱい起こしてください。

シート・バックを起すときは、まず中央部のパネルを起してからシート・バックを起します。

シート・バックをいっぱい起こしてから、ハンドルを倒し、シート・バックを押えつけて固定します。

★注意も

シート・バックを起すとき、先にハンドルを倒すとシート・バックが起き、あとで固定することができません。

■ヘッド・レストを正しい位置に前に押し、高さを2段に調整できます。上の位置で使用してください。

ヘッド・レストの正しい位置



■シート・ベルトを忘れずに

運転するときには、必ずシート・ベルトをしましょう。ベルトはいつも清潔にしておきましょう。

また破れがないか点検しましょう。なお、よごれを落すには、中性洗剤でブラッシングして布でふきとってください。

装着方法

1. シートを調節し、正しい姿勢ですわります。
2. 巻き取り装置からベルトをいっぱい引き出し、ねじれていないことを確認してプレートをバックルにはめます。プレートがバックルにはまらないときは、ベルトが長くなるように調整します。

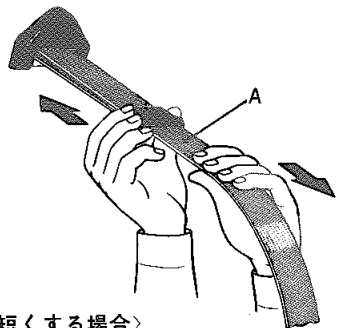


3. 巻き取り装置からベルトをいっぱい引き出した状態で、腰部のベルトが腰骨にぴったりするまで、肩ベルトを引き上げます。
4. 胸とベルト間に、にぎりこぶしが入る位、余裕があるように肩ベルト部を調整します。

ベルトの調整

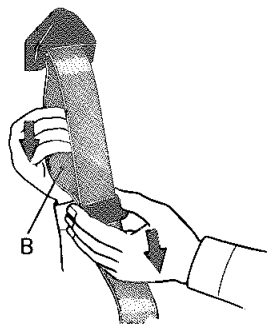
<長くする場合>

A部のベルトを水平方向に引っ張り長くします。



<短くする場合>

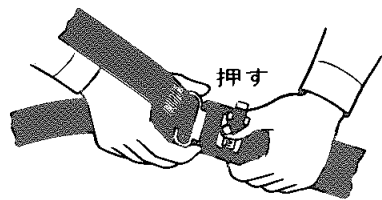
B部のベルトを引き下げベルトを短くします。



★注意

1. 腰ベルトは、腰骨の位置にしっかり装着してください。
2. 1本のベルトを2人で使用することはやめてください。
3. ベルトのよごれを落とすには、中性洗剤でブラッシングして布でふきとってください。

取りはずし



バックルの中央のボタンを押してベルトをはずします。

リヤ・シート・ベルトの装着方法

プレート側のベルトをいっぱい引き伸ばしバックルにはめ長さを調整します。

■ミラーの調整をしましょう。

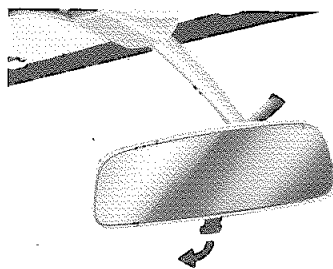
インナー・リヤ・ビュー・ミラー

アウター・リヤ・ビュー・ミラー

後方視野が十分に確認できる位置に調整しましょう。

防眩式インナー・リヤ・ビュー・ミラー

デラックス車



夜間先行の場合、後続車のライトがインナー・ミラーに写り、まぶしいときに使用します。

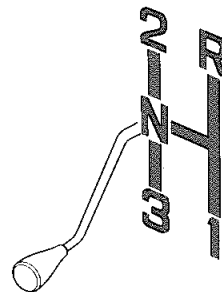
ミラーの下にあるレバーを手前に引くと後続車のライトの反射が弱くなり、後続車が確認しやすくなります。

防眩が必要なくなったときは、レバーを押しもとの位置にします。

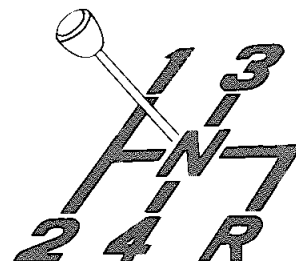
シフト・レバーについて

■マニュアル・トランスミッション

3速コラム・シフト



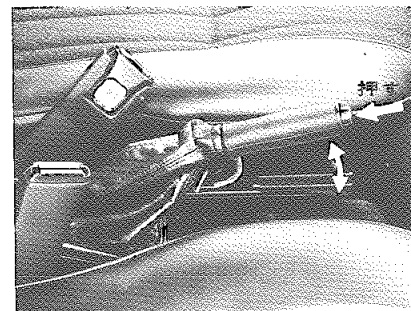
4速フロア・シフト



パーキング・ブレーキ・レバーについて

■パーキング・ブレーキ・レバー

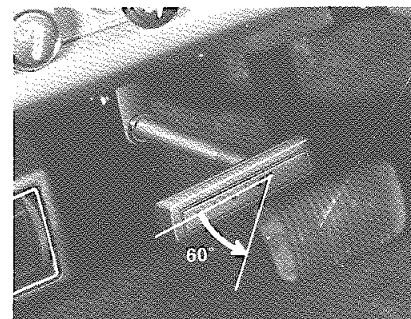
フロア・シフト車



駐車時、いっぱい引いて使用します。

もどすときは、レバーをかるく引きあげながらレバー先端のノブを押しやてもどします。

コラム・シフト車

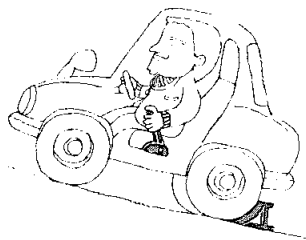


駐車時いっぱい引いて使用します。

もどすときは下に約60°回してもどします。

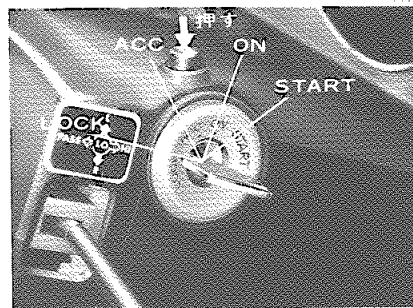
坂路での駐車は……

パーキング・ブレーキを引いた上、ギヤをローまたはリバースに入れ、さらに上り坂では後輪に、下り坂では前輪に輪止めをします。



エンジン始動について

■エンジン・スイッチ



LOCK ……キーを抜き差しできる位置。

キーを抜くとハンドルがロックされ盗難防止に役立ちます。

ACC ……エンジンをつめたまま、ラジオおよびカー・ステレオの聞ける位置。

ON ……エンジン運転中の位置。

START ……エンジンを始動する位置。

手を離せば自動的にONにもどります。

■ロック

キーをACCからLOCKの位置にするときは、プッシュ・ボタンを押さえて回します。

■アン・ロック

キーがLOCKからACCに回らないときは、ハンドルを軽く左右に回しながらエンジン・キーをACCの方向に回すとはずれます。

■注意

1. エンジン停止時、スイッチはLOCKまたはACCの位置にしておきましょう。長時間停止するときはLOCKの位置にしてください。
ONの位置で放置するとバッテリー上がりの原因になります。
2. エンジンがかからないとき、無理にそのままSTARTの位置で長時間回さないでください。
バッテリーが上がります。
3. エンジンをつめてラジオまたはカー・ステレオを長時間つけておくとバッテリー上がりの原因になります。
4. エンジンがかかっているとき、キーをSTARTの位置に回さないようにしましょう。スターターが無理にかみあい破損します。

■エンジンを始動するには

1. エンジンを始動する前にアクセル・ペダルを次のように踏み込みます。

外気温	踏む回数
+5℃以上	軽く1回
+5℃～-10℃	いっぱい1～2回
-10℃以下	いっぱい2～3回

2. アクセル・ペダルから足を離しエンジンを始動します。
3. しばらく暖機をします。
オートマチック・チョークが働いている間はアイドリング回転数は通常より高くなっているためアクセル・ペダルを踏んでいる必要はありません。
4. 暖機運転のときエンジンを高回転のまま10分以上放置しないでください。
水温が上がったら必ず一度アクセル・ペダルを踏み込んでエンジン回転数を下げてください。

スイッチ, メーター について

■スピードメーター <速度計>

指針は車の走っているスピードを示し、約100km/h以上になると、チャイムが鳴り警告します。チャイムが鳴っているとき、指針が振れることがありますが、異常ではありません。

■オド・メーター <積算距離計>

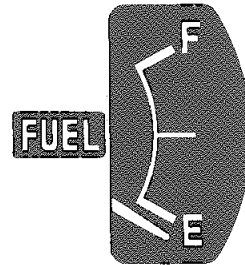
走行した総距離をkmの単位で表わします。白地に黒文字は、100mの単位です。

■トリップ・メーター <総積算距離計>

オド・メーターと共に走行した距離を表示します。ある区間または期間に走行する距離を知りたいとき0にもどして使用します。0にもどすときは、トリップ・メーター・ノブを押せば0にもどります。

■フューエル・ゲージ <燃料計>

エンジン・スイッチがONのときにフューエル・タンク内の燃料の量を示します。エンジン・スイッチがON以外では、指針はEより下の位置にあります。



Eに近づいたら早めに燃料を補給してください。

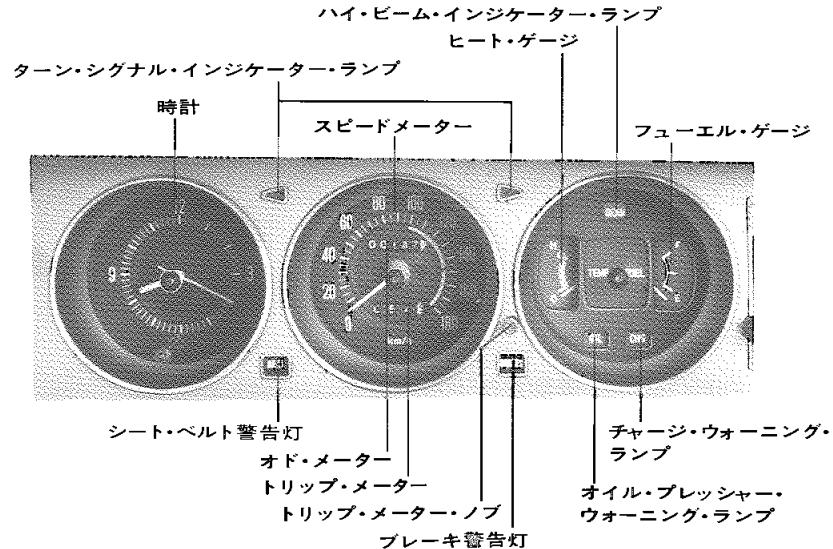
■チャージ・ウォーニング・ランプ

<充電警告灯>

エンジン回転中、充電系統が異常のときに点灯し(赤色)警告します。ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

■オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ <油圧警告灯>

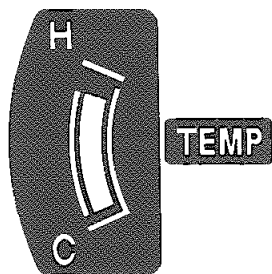
エンジン回転中、潤滑系統が異常の時に点灯(赤色)し警告します。点灯したままのときはオイル量を調べてください。ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。



■ ヒート・ゲージ〈水温計〉

エンジン・スイッチがONのとき冷却水温を示します。水温が低いとき、およびスイッチがON以外ではCより下の位置にあります。

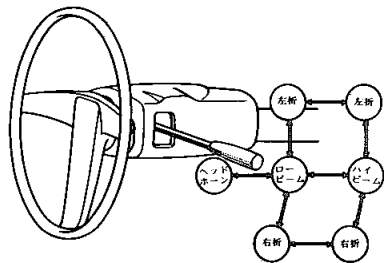
指針がレッド・ゾーンを示すときは、冷却水の有無、漏れおよび、ファン・ベルトのゆるみ等について点検してください。



■ ターン・シグナル・インジケータールランプ

右折または左折のとき、それぞれのターン・シグナル・インジケータールランプが点滅(緑色)します。

■ ターン・シグナル・レバー



ターン・シグナル・スイッチとして……

右左折のとき上図のように操作します。操作した側のターン・シグナル・ランプが点滅するとともにターン・シグナル・インジケータールランプが点滅します。ハンドルをもとにもどすとレバーは自動的にもとどります。ハンドル操作が少ないときスイッチが自動的にもどらない場合があります。このときは手でもどしてください。

ヘッドランプ・ホーン・スイッチとして……

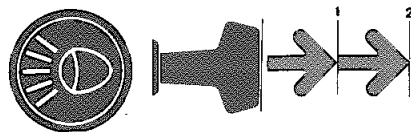
レバーをロー・ビームの位置から手前に引いている間ヘッドランプのハイ・ビームが点灯します。

高速道路で先行車を追い越すときなどの合図として使います。

ディマー・スイッチとして……

ハイ・ビームとロー・ビームの切り替えをします。夜間先行車や対向車のあるときはロー・ビームにしてください。

■ ライト・コントロール・スイッチ



エンジン・スイッチに関係なくランプがつけます。

①および②の位置でそれぞれ次の○印のランプが点灯します。

灯 火 名	①	②
ヘッドランプ	○	○
クリアランス・ランプ、テール・ランプ	○	○
ライセンス・プレート・ランプ	○	○
メーター・パイロット・ランプ	○	○

■ ハイ・ビーム・インジケータールランプ

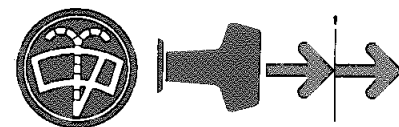
ヘッドランプがハイ・ビームのとき、ハイ・ビーム・インジケータールランプが点灯(青色)します。

■ ワイパー&ウォッシャー・スイッチ

エンジン・スイッチがONのときに作動します。

ワイパー・スイッチ

コラム・シフト車は……

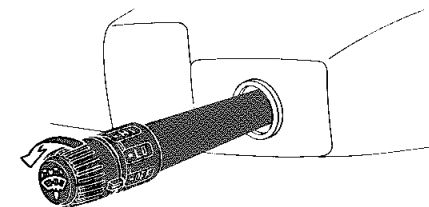


1段……低速 普通雨量のとき

2段……高速 雨量の多いとき

スイッチを切ると、ワイパーは動き始めの位置までもどって止まります。

フロア・シフト車は……



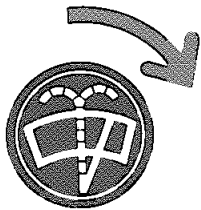
LO……低速 普通雨量のとき

HI……高速 雨量の多いとき

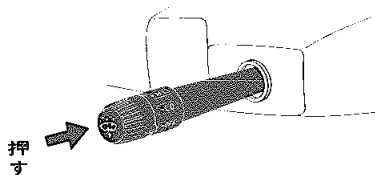
スイッチを切ると、ワイパーは動き始めの位置までもどって止まります。

ウォッシャー・スイッチ

コラム・シフト車



フロア・シフト車



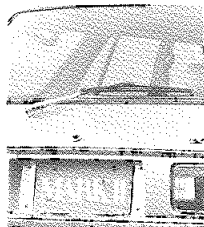
スイッチを押すとウォッシャー液が噴射されます。
ウインドウ・ガラスがよごれているときに使います。

★注意

- よごれたまま使用するとガラスに傷がつきます。
ウインドウ・ガラスが汚れているときは、ウォッシャー液噴射後ワイパー・スイッチを入れてください。
- ウインドウ・ウォッシャー液がカラのときは、スイッチを回さないでください。回すとポンプをいためる恐れがあります。

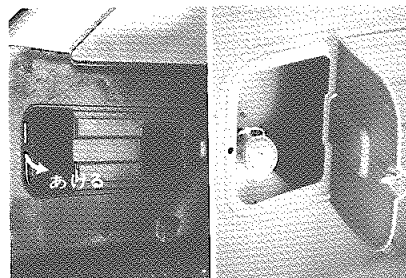
リヤ・ワイパー

オプション



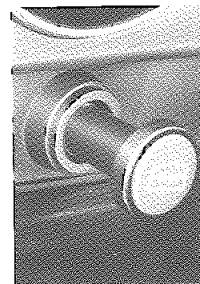
エンジン・スイッチがONでこのスイッチを引くと作動します。
スイッチを切ると、ワイパーは動き始めの位置までもどって止まります。
スイッチを右に回すと、ウォッシャー液が噴射されます。

ウォッシャー・タンクの処置



リヤ・ウインドウ・デフォッグ・スイッチ

オプション



リヤ・ウインドウが曇ったとき、ガラスの表面を暖めて、曇りをとります。
スイッチをONにすると、スイッチ内部の照明ランプが点灯し、作動していることを示します。

★注意

デフォッグは消費電力が大きいので、リヤ・ウインドウの曇りが消えたらスイッチを切ってください。
スイッチを入れっ放しにしておくと、バッテリー上がりの原因になりますのでご注意ください。室内の曇りを取るもので、雨水を乾燥させたり、雪をとかす能力はありませんので必要以上に使用しないでください。

ブレーキ警告灯

- エンジン・スイッチがONのとき、パーキング・ブレーキ・レバーを引くと点灯(赤色)し、レバーをもどすと消えます。
- レバーをもどしても消灯しないとき、または走行中点灯したときは、ブレーキフルードが規定レベル以下になっていることを警告します。

シート・ベルト警告灯

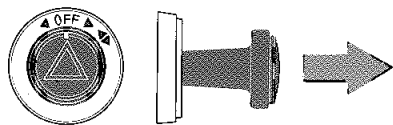
パーキング・ブレーキ・レバーを引いた状態で、エンジン・スイッチをONにすると点灯(赤色)し、シート・ベルトを装着すると消灯します。

時計

DL車標準

時刻調整はつまみを手前に引いたまま回して行ないます。

■ハザード・ウォーニング&パーキング・スイッチ
ハザード・ウォーニング・スイッチとして



故障して、路上駐車するとき他車の追突防止のため使用します。

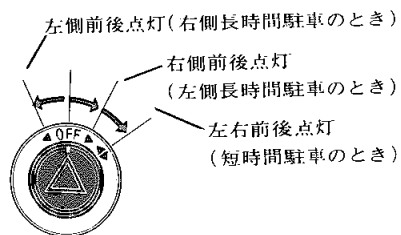
スイッチを引くと、前後左右のターン・シグナル・ランプとともに、ターン・シグナル・インジケータ・ランプが点滅し、駐車していることを知らせます。

※注意

ハザード・ウォーニング・スイッチは非常の場合以外は使わないようにしましょう。走行中、トンネル内などで使用すると他車の誤解をまねき危険です。

パーキング・スイッチとして

夜間路上駐車時使用します。



ラジオ, ステレオ

■ラジオ

ラジオは、エンジン・スイッチをONかACCにして、電源スイッチを押しONにして使用します。

アンテナ

DX車標準STD車オプション

アンテナを伸ばすときは、手でひっぱり出します。

アンテナはいっぱい伸ばしてお使いください。

AMプッシュ式

DX車標準STD車オプション



〈選局ボタンのセットのしかた〉

1. ボタンの1つをいっぱい引き出します。
2. 左側選局ツマミ(TUNING)で望みの局に合わせます。
3. 引き出したボタンをいっぱい押し込みます。
4. 他のボタンも同じ方法でそれぞれの局にセットできます。

放送局の違う地域へ行った場合は選局しなおしてください。

〈選局ツマミ〉

選局ボタンでセットした局以外の放送局を選ぶときは左側の選局ツマミで合わせてください。

〈音量調整〉

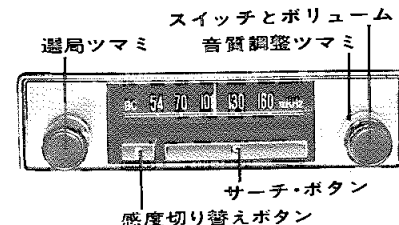
音量調整ツマミ(VOLUME)を回してお好みの音量に調整してください。

〈音質調整〉

音質調整ツマミ(TONE)を回してお好みの音質に調整してください。

AMサーチ・チューナー式

オプション



音量調整・音質調整は、プッシュ・ボタン式と同じ取り扱いです。

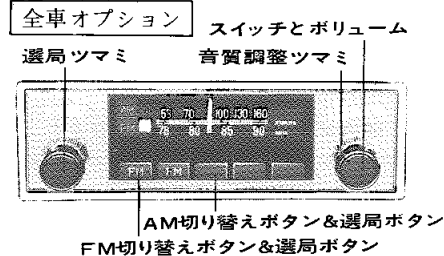
〈選局のしかた〉

サーチ・ボタンを押すと、指針が自動的に移動し次に受信できる局で止まります。

〈感度の切り替え〉

山間部などの電波の弱い地域や、遠くの放送電波をキャッチしたいときに、感度切り替えボタンを押し込んでください。もう一度ボタンを押すともとの位置にもどり、近距離の局のみ選局できます。

AM・FM 5 ボタン式



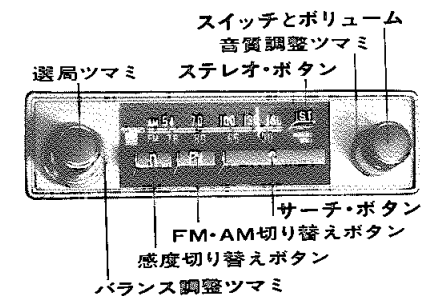
<AM・FM放送の受信のしかた>

AM・FMの切り替えは選局ボタンで行ないます。

AM放送受信中にFM放送に切り替えるときは、FM選局ボタンを押して選局ツマミを回し、お望みの放送を選んでください。選局ツマミによるAM・FMの切り替えは選局ボタンを押したあとでなければ切り替わりません。選局ボタンのセットはFM 2局、AM 3局がセットできます。他はAMプッシュ・ボタン式ラジオと同じです。

AM・FM・マルチ・ステレオ式

オプション



音量調整、音質調整は、AMプッシュ式と同じです。

<FMボタンのセットのしかた>

FMボタンを押し込むとFM放送が受信できます。FMボタンをもう一度押すとボタンの位置がもとにもどり、AM放送受信状態となります。

選局のしかたと感度の切り替えはAMサーチ・チューナー式と同じです。

<バランス調整>

バランス調整ツマミを回すと、音が左右に移動します。

もつともステレオ感のもりあがる位置にこのツマミを調整してください。

<マルチ・ステレオのセットのしかた>

FM放送受信中にステレオ・ボタンを押すとFMステレオ放送を受信できます。ステレオ受信中にはステレオ・インジケータ・ランプが点灯します。

もう一度ステレオ・ボタンを押すとボタンはもとよりFMモノラル放送に変わります。

<FMステレオを上手に聞くには>

FM放送の電波はAM放送にくらべ到達距離が短くまた直進性のため、ステレオで聞いている時、ビル街や山の陰、また電波の弱い場所ではシャッシャッと音が変わったり、FMステレオ・インジケータが点滅することがあります。これは電波が急に弱くなるためで、ラジオの故障ではありません。

なおこの場合はFMステレオボタンをもう一度押してモノラルにしてください。聞きやすくなります。又アンテナはいつぱいに伸ばしてお使いください。

<雑音が気になるときは>

放送電波が雑音電波より弱い場合は、ブツッと雑音が混入します。このような場所では次のように操作してください。

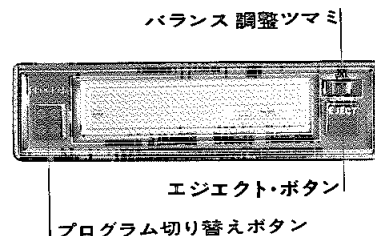
1. エンジンをかけた状態で、選局ツマミを回し、雑音がいちばん少ないところへ合わせ直してください。
2. さらに電波の弱い地域で、どうしても雑音が気になるときは、音質調整ツマミを左に回して低音にすると、聞きやすくなります。

■ステレオ

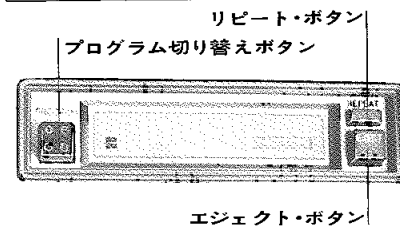
ステレオは、エンジン・スイッチがONかACCのときに聞くことができます。

カートリッジ・ステレオ

全車オプション



マルチ・ステレオ式ラジオ付き車オプション



エンジン・スイッチがONまたはACCのとき使用できます。

カートリッジ・テープをまっすぐ差し込むと、自動的にチャンネル・インジケータ・ランプがつき演奏が始まります。

<バランス調整>

バランス調整ツマミを回すと、音が左右に移動します。

もつともステレオ感のもりあがる位置にこのツマミを調整してください。

マルチ・ステレオ式ラジオ付き車オプション仕様のカー・ステレオはラジオのバランス調整ツマミで調整してください。

<音量調整>

ラジオの音量調整ツマミ(VOLUME)を回して適当な音量に調整してください。

<音質調整>

ラジオの音質調整ツマミ(TONE)を回してお好みの音質に調整してください。

<プログラム切り替え>

演奏中、プログラム切り替えボタンを押すと他のプログラムに切り替えることができます。

1つのプログラムの演奏が終わると自動

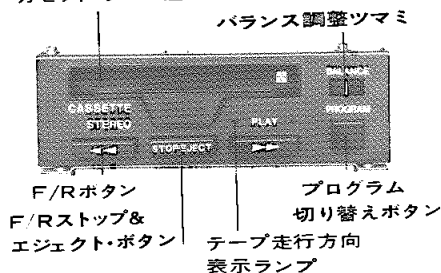
的に次のプログラムに切り替わります。
マルチ・ステレオ式ラジオ付き車オプション仕様のカー・ステレオはリピート・ボタンを押すとプログラムをくり返すことができます。

★注意

1. テープの保存はテープが露出しないようにケースに入れ直射日光をさけて保存してください。
2. テープを演奏状態のままエンジン・キーを切らないでください。
回転むらや、テープの巻き込みの原因になります。

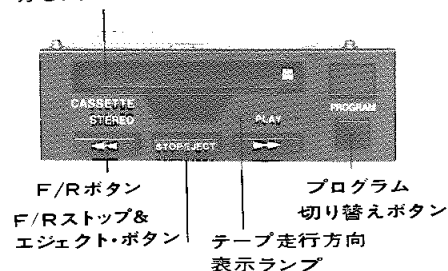
カセット・ステレオ 全車オプション

カセット・テープ差し込み口



マルチ・ステレオ式ラジオ付き車オプション

カセット・テープ差し込み口



<演奏開始>

カセット・テープを差し込み口にまっすぐ“ロック”されるまで差し込んでください。自動的にテープ走行方向表示ランプ (PLAY) が点灯し、演奏が始まります。このとき、ラジオの電源スイッチの ON, OFF に関係なく自動的に演奏が始まります。

<音量, 音質調整>

ラジオの音量 (VOLUME), 音質調整ツマミ (TONE) で調整してください。

<バランス調整>

バランス調整ツマミを回すと、音が左右に移動します。

もともと、ステレオ感のもりあがる位置にこのツマミを調整してください。

マルチ・ステレオ式ラジオ付き車オプション仕様のものはラジオのバランス調整ツマミで調整してください。

<プログラム切り替え>

プログラム切り替えボタンを押すと、プレイ方向表示ランプが切り替わり、テープ走行方向の切り替えができ、お好みのプログラムが選べます。

オート・リバース

テープ演奏が終ると自動的にプログラムが切り替わります。

<早送り (FF), 巻きもどし (REW)>

F/R ボタンを押すとテープの早送り、または巻きもどしができます。

プレイ走行方向表示ランプの点灯は、テープ走行の方向を表わしています。

プレイ・ランプの点灯している方向と同じ矢印表示の F/R ボタンを押すと早送り、逆方向の矢印表示の F/R ボタンを押すとテープの巻きもどしができます。

<早送り (FF), 巻きもどし (REW) の解除>

エジェクト & F/R ストップ・ボタンを軽く押すとテープの早送り、巻きもどしを解除することができます。

<演奏停止>

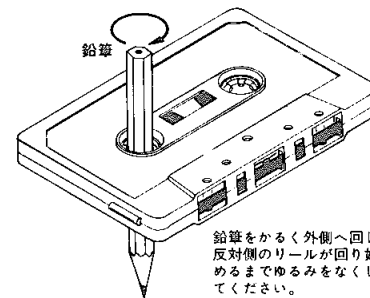
演奏を停止させテープを取り出したいときは、エジェクト & F/R ストップ・ボタンを強く押し込んでください。

カセット・テープが差し込み口に押し出され、同時にテープ・プレーヤの電源も OFF になります。

★注意

1. C-120 テープおよびクローム・テープは使用しないでください。テープの巻きつきや、ヘッドの摩耗を早めます。
2. テープを演奏状態のままエンジン・キーを切らないでください。
回転むらや、テープの巻き込みの原因になります。
3. カセット・テープを挿入する時は、テープのたるみを直してください。
4. テープの保存はテープが露出しないようにケースに入れ直射日光をさけて保存してください。

たるんだテープの修正方法



鉛筆をかるく外側へ回し反対側のリールが回り始めるまでゆるみをなくしてください。

ヒーター

温度調整レバー

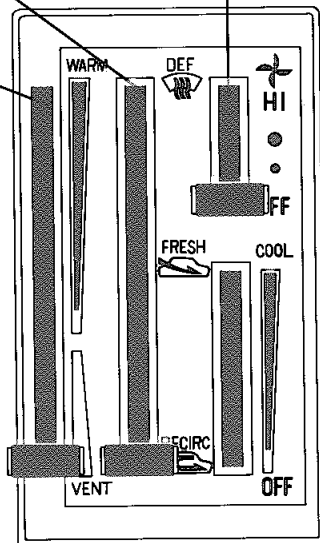
WARM 室内暖房
VENT 室内換気

内外切替レバー

DEF ガラス曇り止め
FRESH 外気導入
RECIRC 内気循環

ファン・スイッチ

HI 強風
● 中風
● 弱風
OFF 停止

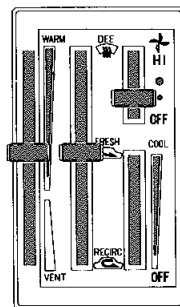


ヒーターは次のような機能をもっています。

- ①ヒーター（暖房用）として
 - ②デフロスター（曇り止め）として
 - ③ベンチレーション（換気用）として
- スイッチ・レバー操作は、次のようにします。

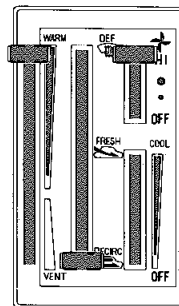
1. 外気による室内暖房

（通常のご使用の場合）



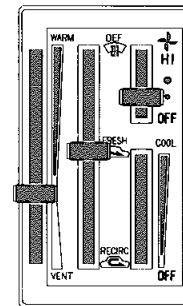
WARMとVENTとの間をもっとも快適な位置に調整してください。

2. 内気による室内暖房



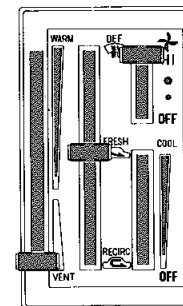
外気をシャット・アウトし、室内空気を暖めて循環させます。窓ガラスが曇ってきたときは外気導入にします。

3. 車内を暖めながら換気する操作



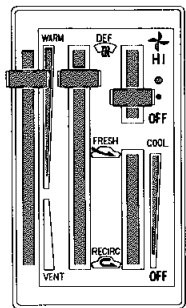
4. 強制ベンチレーション

（夏期ベンチレーション）



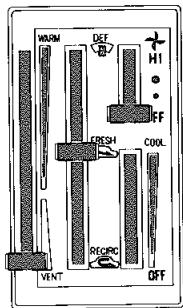
サイド・ベンチレーターも使用すると、一層効果があります。

5. ガラスの曇りどめ（冬期の場合）



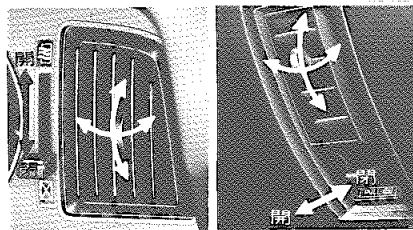
曇り止めのためにはサイド・ガラスを少しあけると一層効果があります。

6. ファン停止でも新鮮な空気が導入できる操作（走行中）



その他

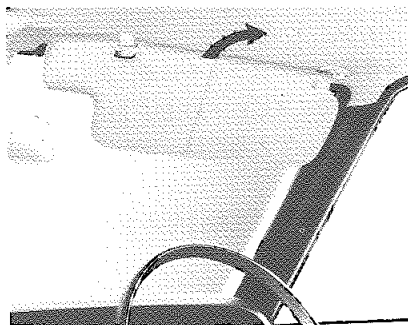
■サイド・ベンチレーター 運転席側 助手席側



車内の空気を入れかえたいときノブを動かして使用します。ベンチレーターから新鮮な空気はいります。

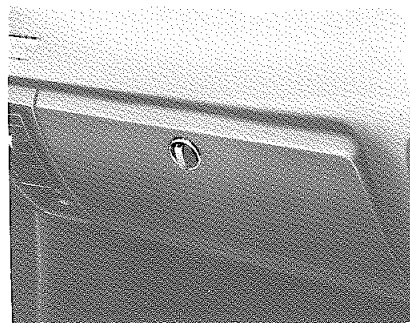
また、中央部のルーバーを動かすことにより風向き調節もできます。

■サン・バイザー



ホルダーからはずすと、横に回すことができます。

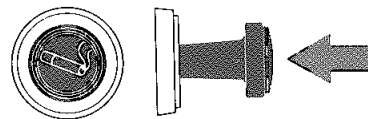
■グローブ・ボックス



つまみを左に回すと開きます。

ライト・コントロール・スイッチがONのときに、ふたを開くとボックス内右横のランプがつきます。

■シガレット・ライター 除くSTD

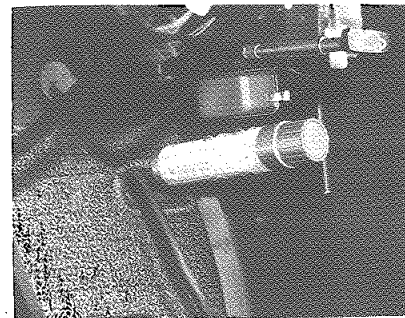


カセット・テープが差込口に押し出され同時にテープ・プレーヤの電源もOFFになります。

★注意

押えつけたまましていると、シガレット・ライターをいためます。

■保安炎筒



踏み切り内での故障など非常事態が発生したときに使用します。

使用法は保安炎筒をよく読んで万に備えてください。

保安炎筒には有効期限があります。有効期間は3年で有効期限はラベルに明示されていますので確認しておきましょう。発炎時間は約5分間です。

▼注意

非常信号用としてのみご使用ください。使用中、筒の先を顔や体に向けたり、近づけたりすると火傷の危険があります。取り扱いには十分注意してください。また、トンネル内で使用すると視界が悪くなり危険ですので絶対使用しないでください。